山形県の暮らし

やまがたには、ゆとりのある暮らしと充実した子育て環境があります。

例えば、

〇通勤時間は東京の約半分で帰宅時間も早く、有給休暇も多くとれます。

〇待機児童数は少なく、出産・子育て期の女性の就業率は全国トップ水準です。

仕　事

■通勤時間（片道）

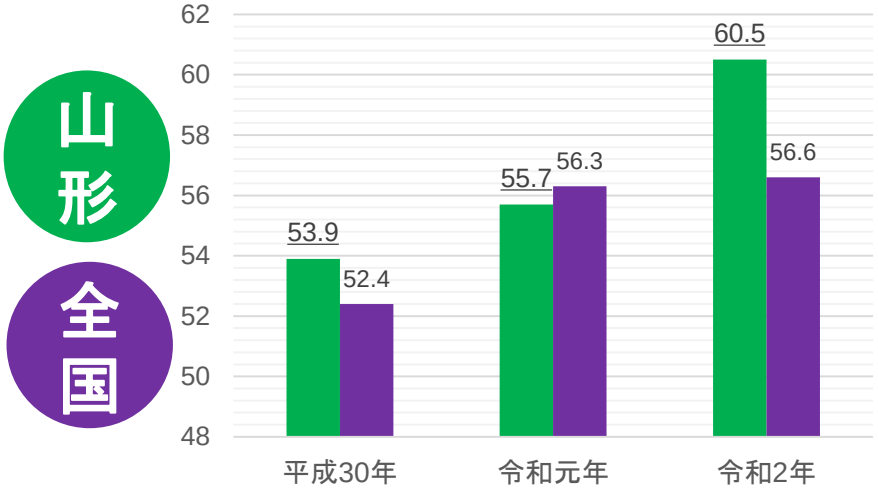
山形　19.2分

東京　44.5分

（資料出所）総務省「平成30年住宅・土地統計調査」

■年次有給休暇の平均取得率（%）

令和2年は全国平均を大きく上回る。



（資料出所）山形県「令和2年山形県労働条件等実態調査」
厚生労働省「令和3年就労条件総合調査」

■仕事からの帰宅時間

山形　18:28

東京　19:13

（資料出所）総務省「平成28年社会生活基本調査」

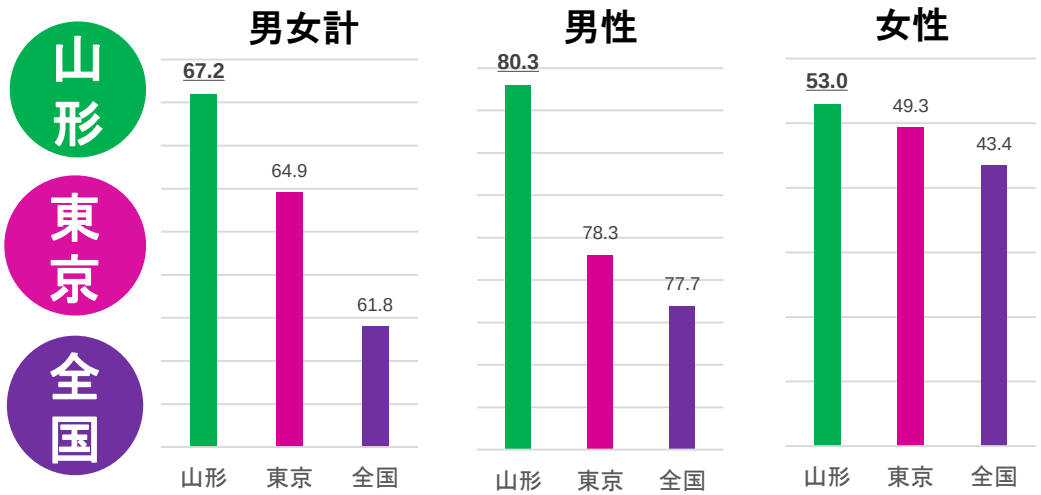
通勤時間が短く、仕事からの帰宅時間も早いため、自分の時間、家族との時間を多く取ることができます。年次有給休暇取得率も全国平均を上回っています。

仕　事

男女共に、正規雇用の割合が高く、共働き率は全国２位。
女性の労働力率は、全国平均を大きく上回っています。

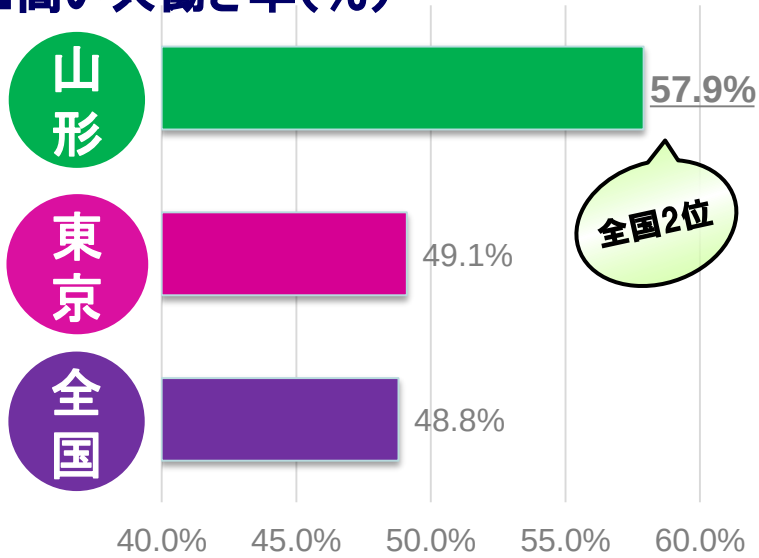
■正規雇用の割合（%）

男女共に全国トップ水準。



（資料出所）総務省「平成29年就業構造基本調査」

■高い共働き率（%）



（資料出所）総務省「平成29年就業構造基本調査」

■女性（15～64歳）の労働力率（%）

山形　**73.5%**

全国　**67.3%**

（資料出所）総務省「平成27年国勢調査」

■出産・子育て期の女性（25～44歳）の労働力率（%）

山形　**84.9%**　東京　**76.5%**　全国　**75.6%**

（資料出所）総務省「平成27年国勢調査」

特に出産・子育て期の女性の労働力率は、全国2位の高さ！

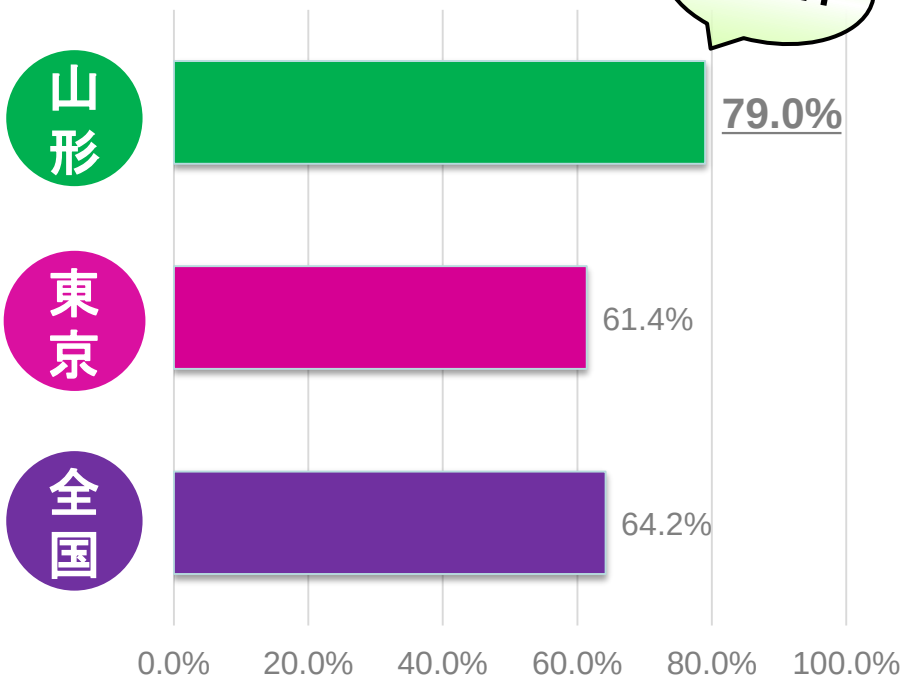
仕　事

育児中の女性の就業率が高く、働きながら子育てできる環境が整っています。

■育児をしながら働いている女性の割合（%）

全国平均を大きく上回る。

全国4位！



（資料出所）総務省「平成29年就業構造基本調査」

■出産・育児を理由に離職した人の割合（%）

山形県は全国3位の低さ！

山形 4.7%　全国 6.9%

（資料出所）総務省「平成29年就業構造基本調査」

■女性の育児休暇取得率（%）

山形 95.7%　全国 83.0%

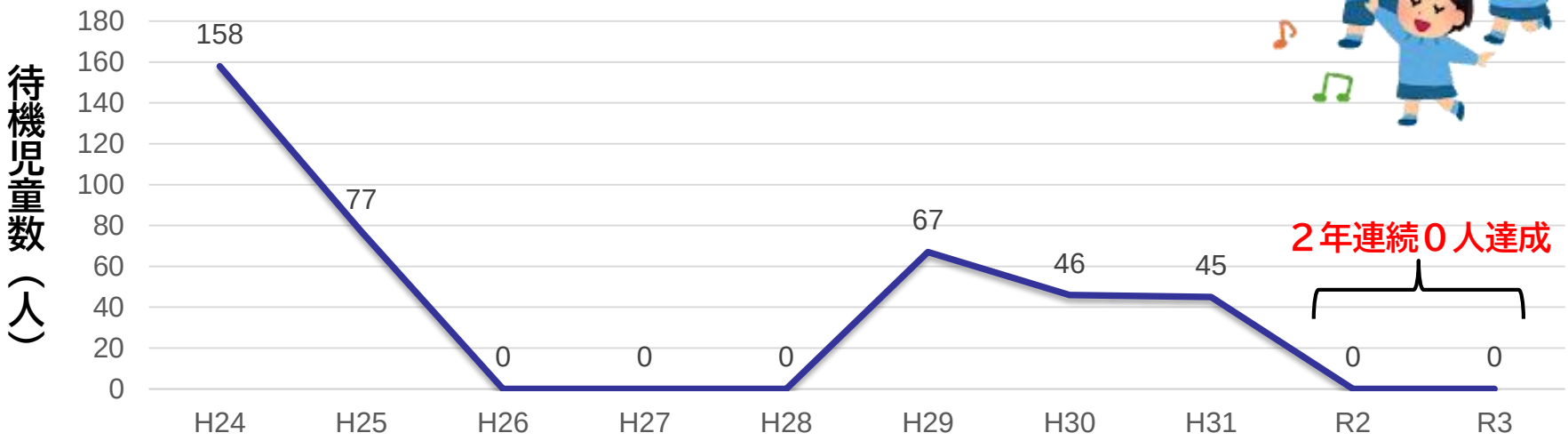
（資料出所）山形県「令和元年度山形県露同条件等実態調査」
厚生労働省「令和元年度雇用均等基本調査」

子　育　て

首都圏で問題となっている「待機児童」
山形県は、2年連続で0人を達成！

■待機児童数

山形　**0人**　　東京　**969人**



（資料出所）厚生労働省「保育所関連等状況取りまとめ（令和３年4月1日）
山形県「保育所等の利用及び待機児童の状況について」

≪山形県の待機児童解消へ向けての取組≫
ハード面：市町村と連携した保育所、認定こども園の整備
ソフト面：保育士確保対策及び待遇改善・届出保育施設の認可化の支援、
幼稚園等における長時間預かり保育への支援　等

教　育

■教育費

18歳未満の子ども一人あたりにかかる年間学習費総額の平均

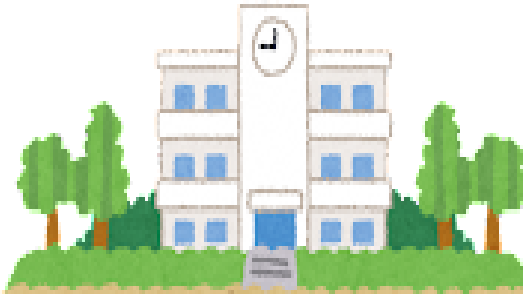
山形 214, 535円　東京 455, 022円

（資料出所）総務省「家計調査家計収支編」
※2018～2020年の平均値、及び世帯における18歳未満数より算出

■子ども一人の学習費総額

	公立費用	私立費用
幼稚園３年間	67万円	158万円
小学校６年間	193万円	959万円
中学校３年間	147万円	422万円
高校３年間	137万円	291万円

（資料出所）文部科学省「平成30年度学校基本統計」
（学校基本調査報告書）



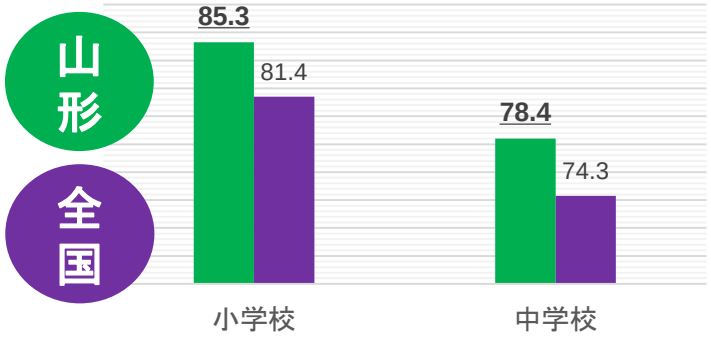
山形県では、
小学校・中学校は公立校に
進学するケースが多いため、
私立校の多い東京都と比べ、
幼稚園から高校までにかかる
教育費の平均は約半分です。

教　育

一人ひとりに丁寧に向き合える教育環境、地域の魅力や伝統に触れられる教育環境が整っています。

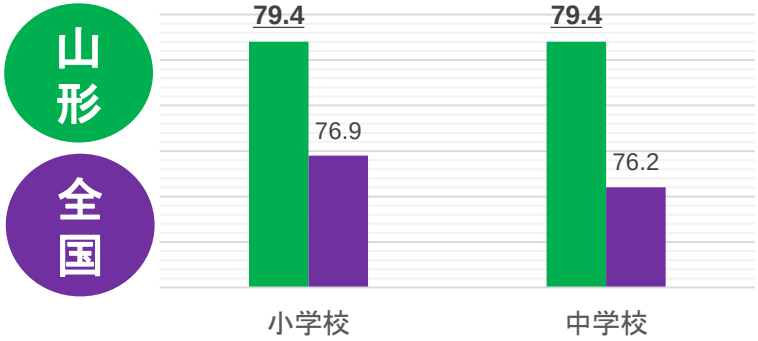
■一人ひとりに合った授業

「授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間になっている」と答えた児童生徒の割合（%）



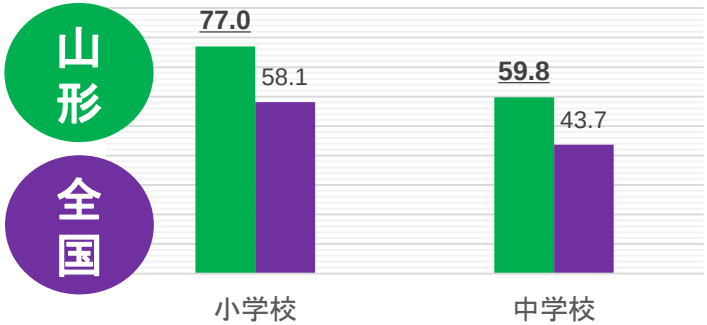
■児童生徒の自尊感情の高さ

「自分には良いところがある」と答えた児童生徒の割合（%）



（資料出所）文部科学省「令和３年度全国学力・学習状況調査」

■地域の行事に参加している児童生徒の割合（%）



（資料出所）文部科学省
「令和３年度全国学力・学習状況調査」

全国初！全小中学校で1学級33人以下の少人数学級編制を実施し、一人ひとりの子どもを大切にする教育を実現しています。
また、地域の方を先生に迎え、その土地の伝統芸能や文化、魅力などを学ぶ機会を設け、豊かな感性を育む環境を作っています。

暮らし（住まい）

山形では、東京より安い価格で、より広い家を持つことができます。

■住宅購入平均価格

住宅のみ購入の場合

山形 3,321万円

東京 4,126万円

土地と住宅同時購入の場合

山形 3,786万円

東京 5,907万円

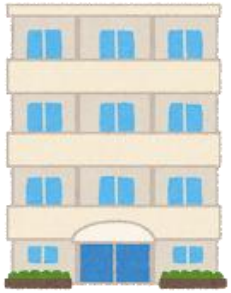
（資料出所）独立行政法人 住宅金融支援機構「フラット３５利用者調査報告（2020年）」

■持ち家比率

全国３位

山形 74. 9%

東京 45. 0%



（資料出所）総務省「社会生活統計指標－都道府県の指標－2021」

■持ち家住宅の延べ面積

全国 第3位

山形県 160. 9㎡　東京都 93. 3㎡

東京の１．７２倍

■1住宅当たり敷地面積

全国 第2位

山形県 368㎡　東京都 139㎡

東京の２．６４倍

（資料出所）総務省「社会生活統計指標－都道府県の指標－2021」

暮らし(安心・安全)

犯罪が少なく、安心･安全な生活ができます！

◆犯罪認知件数(人口千人当たり)【平成30年】

山形 3.32件 （少ない順で 全国第６位） 東京 8.28件

（資料出所）総務省「社会生活統計指標 －都道府県の指標－ ２０２１」

◆刑法犯検挙率(認知件数1件当たり)【令和2年】

山形 83.9% （全国第１位） 東京 40.5%

◆窃盗犯検挙率(認知件数1件当たり)【令和2年】

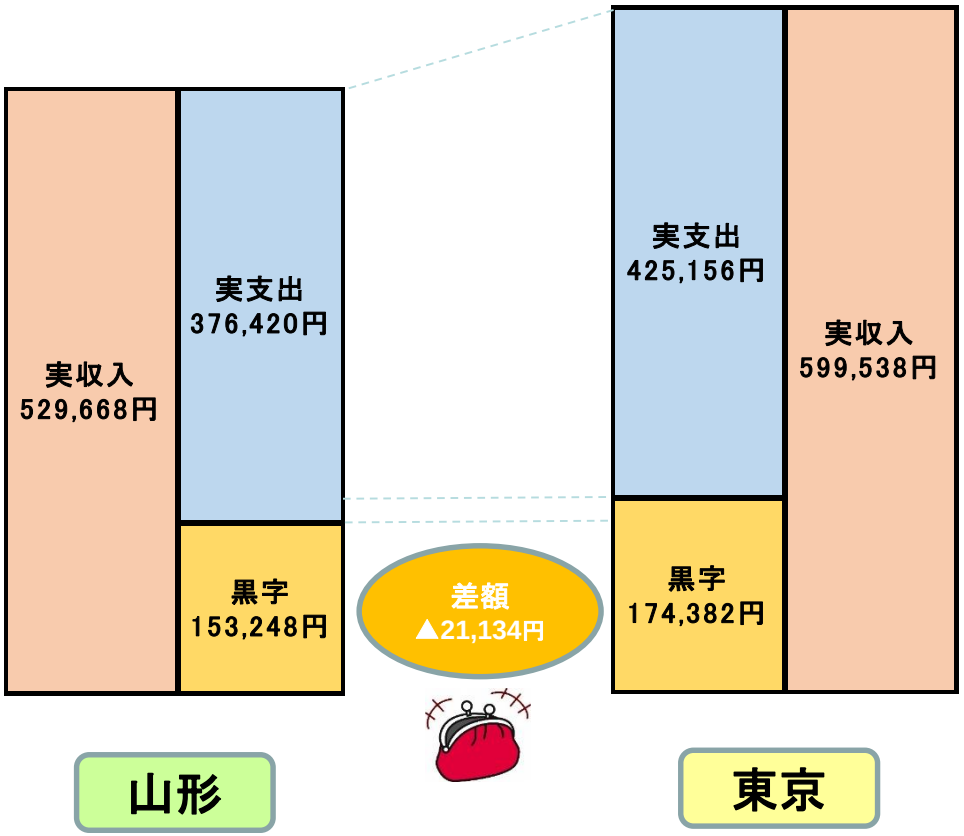
山形 85.1% （全国第１位） 東京 33.3%

（資料出所）警察庁「犯罪統計資料（令和２年１～１２月分）【確定値】」

暮らし（お金）

１ヶ月の家計収支（2019年）

（２人以上世帯のうち、勤労者世帯の平均）



（出典）2019年家計構造調査（総務省統計局）

山形県は配偶者収入が多い。
働きながら子育てできる環境が
整っていて、共働きが多い

山形県は住居に係る支出は少ないが、
持ち家の平均延べ面積は
東京都の**１．７２倍！**

山形県は中学校、高校も公立が多いため、
幼稚園～高校卒業までにかかる教育費は
東京都の**半分以下。**

山形県は、東京都と比べ水道代が高く、
冬期間の暖房費も多くかかる。

山形県は車社会のため、
自動車の購入費用や維持費用が
東京都より多くかかる。

東京都と比べ、**収入差は約７万円**であるのに対し、**黒字額の差は約２万円。**

山形県でも、充実した暮らしを送ることが可能！！